

自然保護と自然資源管理

①自然保護と自然資源管理

野生動物管理の基礎となる自然保護と自然資源管理の歴史背景や概念について紹介する。自然保護については、海外や日本の歴史背景を制度面から紹介しつつ、そのような歴史背景のもとどのような概念が形成されてきたのか、さらにはどのように概念が変遷してきたのかを紹介する。事例として白神山地における自然遺産登録に絡む自然保護と利用の課題を紹介し、自然保護という言葉の捉え方についても理解を促す内容としている。自然資源管理については、自然資源管理の概念と日本の法律の中での捉え方を事例も交えつつ解説する。最後に、自然資源管理の考え方を踏まえた野生動物管理についても事例を交えつつ紹介する。

②野生動物の資源的価値と活用

野生動物を自然資源管理として管理していくためには、その資源的価値を生かしてどのように活用していくのかが重要となる。まず、野生動物の資源的価値について、ジビエ等の食肉利用に限らず幅広く正の生態系サービスとしての価値について具体例を交えて紹介する。さらに、資源的価値について、利用的価値と非利用的価値という2つの観点から活用方法を踏まえながら事例を紹介する。一方で、野生動物は、人獣共通感染症等負の生態系サービスとして側面も持ち合わせるため、活用にあたっては注意が必要な点も多い。このことから活用にあたっての注意点についても触れつつ、野生動物管理につなげる持続的な資源管理についても最後に解説する。